

## アプリケーションカタログ メッキ液中の酸化クロム濃度の測定

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	酸化還元滴定
関連規格		

### 1. 概要

メッキ液中の酸化クロム（VI，無水クロム酸）の濃度測定は、試料によう化カリウムを加えてクロム酸によって遊離されたよう素を電位差滴定法により0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液で当量点まで滴定します。当量点は、滴定曲線上の変曲点です。チオ硫酸ナトリウム溶液の滴定量から無水クロム酸の濃度を算出します。

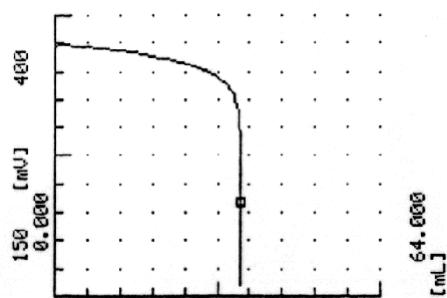
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（標準プリアンプリファイア STD-1）
電極	:	複合白金電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液
溶媒	:	純水
添加試薬	:	フッ化アンモニウム，3mol/L 硫酸，ヨウ化カリウム

### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	採取量 (mL)	滴定量 (mL)	酸化クロム濃度 (g/L)
1	5.0	36.5607	243.71
2	5.0	36.6214	244.12
3	5.0	36.5352	243.54
平均			243.79
偏差			0.30
RSD (%)			0.12

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>